

近畿本部建設部会

活動報告

平成24年9月21日（金）

平成23年度活動報告

- (1) 平成23年度 定時総会(平成23年6月25日(土))
 - ・(会場:大阪科学技術センター600号室 出席者13名、委任状提出者47名 合計60名。活動部会員(88名)の 1/2以上のため成立。
- (2) 技術士一次及び二次試験合格者歓迎会
- (3) 部会報
 - ・近畿支部建設部会報「つちおと」8号(2011.6.25発行)
- (4) 研修会、講演会、シンポジウムセミナー
 - ・定時総会講演会 参加者13名
久保田晃司氏(阪神電気鉄道(株)「阪神なんば線の建設経緯と開業効果及び鉄道事業者の沿線経営について」)
 - ・第5回「震災対策技術展」大阪セミナー(平成23年6月9・10日)会場 インテックス大阪 10日14:30～15:30シンポジウム「防災・減災のネットワークづくり(その2)ー阪神・淡路大震災から東日本大震災までー」基調講演:室崎益輝氏(関西学院大学総合政策学部教授)参加者約100名
 - ・第5回災害対策セミナーin神戸(平成24年1月21日(土)) 会場:神戸国際会議場 テーマ:「防災・減災のネットワークづくりー阪神・淡路から東日本大震災までー」、パネリスト:向井通彦氏(泉南市長)、大元守氏(防災支援委員会委員長)、石川浩次氏(近畿本部防災研究会会長)、遠藤雅彦氏(関西県外避難者の会発起人)、河田のどか((特非)さくらネット)、中山久憲氏((財)神戸市都市整備公社施設整備推進本部調査役)、村井雅清氏(被災地NGO協働センター 代表)参加者60名。
- (5) 見学会
 - ・「JR大阪駅」1回目 平成23年7月29日 参加者10名
 - ・「JR大阪駅」2回目 平成23年9月10日 参加者15名

改定支那建設部会報 東日本大震災特号

つちかど

会報編集人 日本技術士会
第18号 2011.4発行
(会員特権号)



東日本震災に備う住宅防災施設建設の最新状況 (改定支那建設部会報編集人特権号)

目次

- * 巻頭言： 山田博義 近畿支那建設部会長 1
- * 第1号に続けて： 高松 穂 公益社団法人 日本技術士会会長 2
- 沢本哲人 国土交通省総合政策局局長 3
- 末利博彦 公益社団法人 日本代表士会副会長 3
- 堀田正樹 国土交通省 都市政策局の企画課長 4
- 前山幸雄 国土交通省 都市政策局の企画課長 4
- 吉田 敏 公益社団法人 日本技術士会建設部会長 5
- 久米 亨 公益社団法人 日本技術士会文化文庫委員長 5
- 藤岡 博 公益社団法人 日本技術士会政経支部長 6
- 坂 淳史 公益社団法人 日本技術士会政経支部 6
- 中国部会幹事 6
- * 最近の技術士会の動き報告： 本利博彦 公益社団法人 日本技術士会副会長 7
- * 建設部会のみみ： 森田亨樹 近畿支那建設部会副会長 8
- * 学術大会報告報告： 野田誠司 公益社団法人 日本代表士会副会長 9
- * 第4回「災害対策セミナー」の開催： 藤井 朋吉 10~30
- * 神戸の法人都市防災に備える技術者の会活動報告 31~32
- * 会員名簿 20~21
- * ひびき (東日本大震災に対し建設部会の役割について) 33
- * 編集後記 35

阪神なんば線整備による効果



震災展大阪 室崎先生講演



震災展大阪セミナー会場



震災展神戸パネリストの皆様



JR大阪駅見学会写真



平成24年度活動計画

(1) 総会等

総会は、6月16日(土) 13:00～ 総会議案審議後に講演会を実施、講演会後懇親会を開催。

・講演会－石川浩次氏(技術士会近畿本部防災研究会会長・建設部会)

演題:2011年東日本大震災と技術士としての防災支援活動

(事例 南三陸町の復旧・復興の支援活動)

(2) 講演会、研修会、セミナー等

・ISO部会との合同開催 平成24年9月

・第6回震災対策技術展(インテックス大阪) 平成24年6月7日(木)、8日(金)

・第6回災害対策セミナーin神戸の参画 平成25年1月21日(月)か22日(火)

・2012 日中科学技術シンポジウムへの自由参加 平成24年6月

・第39回技術士全国大会(大阪)への参加と協力 平成24年9月21日～24日

・第39回技術士全国大会(大阪)建設部会合同部会開催協力 平成24年9月21日

(3) 見学会

・阪神高速大和川線の見学 平成24年7,11月(予定)

・第18回西日本研究・業績発表年次大会に参加協力する。 平成24年11月

(4) その他

・「つちおと」第9号を発行する。 平成25年6月

・倫理意識向上に係る事業を計画・実施する。 平成24年度中

・「地域組織の設置、運営に関する規則」施行に伴う新組織の発足(H25.6予定)準備平成24年度中

・1次、2次試験合格者歓迎会 (例年通り)

宮城県南三陸町の震災復興 支援活動の実践例

- 南三陸町の被災状況:・死者・行方不明者1008名(全人口の約5.0%)、建物罹災戸数約3,300戸(罹災率約62%)、面的浸水被災地域約970ha.
- 地方自治体・復興担当者からの要請による、地方自治体の震災復興のための土地利用計画・土地造成計画策定等に関する技術支援.
- 現地被災状況調査の実施.
- 南三陸町震災復興に向けての「土地利用計画・土地造成計画」の素案作成支援.

阪神高速大和川線シールド工事見学会



- ご清聴ありがとうございます